

特別支援部会 授業研究会

令和5年5月25日

【研究主題】主体的に学び、考えを広げ、深め、表現する児童の育成
～自らの考えをもち、話し合いによって解決を目指す学級活動を核として～

研究内容1 付きたい力を明確にした話し合い活動の年間指導計画作成と他領域との関連

研究内容2 付きたい力を明確にした話し合い活動の段階的指導・援助の在り方

研究内容3 話し合いのよさを実感し、成長を自覚するための評価の工夫

<研究会について>

1. 授業提供

- ①日 時：令和5年5月25日(木) 第3校時
- ②学 級：つばさ1組
- ③授業者：
- ④題材名：（1）学級や学校における生活づくりへの参画
ア 学級や学校における生活上の諸問題への解決
『雨の日の楽しい過ごし方を決めよう』

2. 研究の視点

<2-① 話し合い活動を充実させるための指導の工夫> 話し合いの仕方の段階的指導と役割の工夫
話し合い活動を充実させるために、「話し方レベルアップ表」を活用する。レベル3まである話型の指導により、年間を通して、話し合いが上達していけるようにする。また、「話し合うこと」や「決まったこと」などの短冊を黒板上に位置づけたり、司会、副司会、提案理由の役割のネームプレートを作ったりすることで視覚化した情報を示し、役割のイメージをもたせることは有効であったか。

<3-③ 仲間の相互評価の工夫> 話し合いのめあてに対する姿の工夫
議題とは別に、「話し合いのめあて」を設定する。話し合いのめあては、教師と司会の児童が相談の上、決めていくものとし、授業終末に、「ふりかえりカード」を使って話し合いのめあての振り返りができるようにする。「ふりかえりカード」には、自己評価と他者評価（仲間からの評価）の部分を作り、相互評価できるようにすることは有効であったか。

3. 授業研究会

1. 司会挨拶
2. 授業者の反省
3. 質疑応答
4. 討議
5. ご指導
6. 司会挨拶

学級活動指導案

令和5年5月25日（木） 第3校時

つばさ1組 授業者

1 議題名

学級活動（1）学級や学校における生活づくりへの参画
ア 学級や学校における生活上の諸問題への解決
『雨の日の楽しい過ごし方を決めよう』

2 議題について

（1）児童の実態

本学級は、知的障がいの特別支援学級であり、8人の学級である。4月、高学年が1年生に、靴片付けや掃除の仕方など学級生活の基礎を丁寧に教えようとする姿が見られた。また、話を聞く姿勢の手本を見せることで、学級全体の聞く姿勢がよくなってきた。しかし、業間の時間には、次の授業の準備ができていなかったり、騒がしくなったりする姿も多く見られ、課題がある。

普段から雨の日は、教師からの提案で読み聞かせをしたり、映画を見たりして過ごしていたが、この学級活動を通して、自分達で話し合い、決めていく経験を積ませたい。今までの学級活動では、高学年中心に司会進行を行い、「学級目標決め」や「つばさ学級の1年生を迎える会の内容決め」、「夏野菜決め」などを行ってきた。

（2）議題設定の理由

梅雨前の5月末、普段からの学級内での過ごし方に関連した議題を設定することで、児童がより関心をもちやすくなると思った。本時では、雨の日の安全で楽しい過ごし方について意見の違いや多様性を認め、折り合いをつけて合意形成をすることにより、学級や学校における生活上の諸問題の解決をしようとする児童につながると考え、本題材を設定した。

事前アンケートを行い、「学級内で困ったこと」について意識調査をした。導入では、その事前アンケートで出た内容の絵を提示することで、当事者意識を高め、自分ごととして捉えることができるようにしたい。

事後の活動として、雨の日の過ごし方の振り返りができるような部分を「ふりかえりカード」の中に位置づける。本時決まったことを実践し、振り返る機会をつくり、継続して取り組めるようにしたい。

3 研究主題との関連

研究内容2① 話し合い活動を充実させるための指導の工夫…

話し合いの仕方の段階的指導と役割の工夫

話し合い活動を充実させるために、「話し方レベルアップ表」を活用する。レベル3まである話型の指導により、年間を通して、話し合いが上達していけるようにする。また、「話し合うこと」や「決まったこと」などの短冊を板書に位置づけたり、司会進行、副司会、提案理由の役割のネームプレートを作ったりすることで視覚化した情報を示し、役割のイメージをもたせる。

研究内容3③ 仲間の相互評価の工夫…話し合いのめあてに対する姿の評価

議題とは別に、「話し合いのめあて」を設定する。話し合いのめあては、教師と司会進行の児童が相談の上、決めていくものとし、授業終末に、「ふりかえりカード」を使って話し合いのめあての振り返りができるようにする。「ふりかえりカード」には、自己評価と他者評価（仲間からの評価）の部分を作り、相互評価できるようにする。仲間からの評価は、◎○△で1年生でも簡単にできるようにする。

4 本時の目標と展開：雨の日に起こりうる危険を予想し、雨の日の安全で楽しい過ごし方を考え、決めることができる。

過程	話し合い活動	教師の指導・援助			○は予想される発言
		A 【レベル1】 自分の考えをもつことができる。	B 【レベル2】 自分の考えを表現することができる。	C 【レベル3】 仲間の考えを聞き、学びを深めることができる。	D 司会進行 仲間の考えを聞き、司会を進めることができる。
つかむ	1 司会グループの紹介と話し合いのめあてを確認する。 2 議題と提案理由を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">雨の日のたのしいすごしかたをきめよう。</div>	・問題意識を高めるために、事前アンケートの内容の絵をモニターに提示する。	・アンケートを想起させることで問題意識をもっていることに気づかせる。	・次どうなるかを問い返すことで、危険を予測させる。	・円滑に活動を進めるために、司会進行表を渡す。
	〈提案理由〉新しい学年になってから、10分休みの過ごし方にこまっています。走ったり、追いかけあいをしていたりして、とても危ないからです。あと、大きい声で、うるさくなるときもあるので、周りの人も困ると思います。これから、雨の日が多くなるので、教室でのすごしかたを考えたいです。				
話し合う	3 雨の日にアンケートのような姿で過ごしているとどんなことが起こりうるか話し合う。 ○雨の日に、モニターのような姿で過ごしていると、この後どんなことがおこるでしょう。	・どんな意見にも共感しながら聞くことで、意見を言いやすい雰囲気をつくる。 ○雨の日は滑りやすいから、転んでしまう。	・理由を発言させることにより、他者との事故にもつながらることを押さえる。 ○慌てていると、他の子とぶつかってしまう。	・普段からの姿が事故の原因になるかもしれないことを押さえる。 ○雨の日だけでなく、提案理由にあるように、普段からの姿が大切だと思う。	・司会をしながら、仲間の意見を聞かせることで、自分の意見と比べたり、補足したりできるようにする。 ○騒がしいと、次の授業に遅れてしまう。
	4 雨の日を楽しく過ごすには、どうしたらよいか話し合う。雨の日の楽しい過ごし方が決まったら、誰がどのようにしていくのか役割分担をする。 ○雨の日を楽しく過ごすには、どうしたらよいでしょう。	・楽しく過ごすことができるようにするための遊びを発言している児童を価値づける。 ○爆弾ゲームやハンカチ落としで楽しく遊ぶ。	・みんなが楽しめる遊びだけでなく、読書などの個人の過ごし方も考慮している発言の児童を価値づける。 ○読書をして、個人で静かに過ごす。 ○NHK for School などを見て過ごす。	・仲間のことを考えて安全に関わる発言をしている児童を価値づける。 ○みんなでカルタとりをする。 ・自分から進んで役割に立候補しようとする姿を価値づける。	・学級全体に目を向けて仲間のことを考えて話している発言を価値づける。 ○高学年が絵本の読み聞かせをする。
まとめ	5 決まったことの確認をする。 6 話し合いのめあてについて振り返る。 7 教師の話聞く。	・「ふりかえりカード」を使い、相互評価を行う。決まったことを理解していたら価値づける。	・「ふりかえりカード」を使い、相互評価を行う。提案理由を話した児童から話し合いの様子を総括させる。	・「ふりかえりカード」を使い、相互評価を行う。仲間の意見に関わる振り返りを価値づける。	・振り返りから、自分の考えを深め、仲間のよさを見つけている発言を価値づける。